

可能性は空の極みまで

日本聾話学校

聴いて育つ 輝くいのち

2024年度（令和6年度）

幼児・児童・生徒 募集要項

聞こえに障がいを持つ子どもたちが
豊かな愛情と最適な補聴環境の中で
聴くこと、話すこと、歌うことを楽しんで
心とことばがそだっていく学校です



日本聾話学校
ホームページ

日本聾話学校ってどんな学校？

日本で唯一、手話を使わずに「聴覚主導」で教育をする私立の聾学校（聴覚特別支援学校）です。キリスト教精神に基づいた、一人一人の命と人格を大切にする「人間教育」をめざしています。

軽度から重度まで、様々な程度の聴覚障がいを持つ子どもたちが、補聴器や人工内耳を使って、聴いて、話して、心を通わせるやり取りの中で、心とことばを育てる学校です。

幼稚部



子どもたちがいきいきと活動し、
明るい声で会話する幼稚部

自分で話すこと、相手の話に耳を傾けることを育み、ことばによるコミュニケーションの楽しさを学びます。お子さんの成長に合わせた個別話し合いや、お友だちとのやりとりを楽しむグループ活動があります。自分の思いを表現し、相手の思いも受け止めることのできる人間性を育てることを大切にしながら元気な身体と豊かな心を育てます。

小学部

明るく やさしく たくましく
そして、かしこい子ども

「明るさ」とは、心を開いて人と関わること。「やさしさ」とは、心を通わせ、共感すること。「たくましさ」とはやりたいことを見つけて、一生懸命取り組むこと。「かしこさ」とは、自ら課題を見つけ解決すること。

心と体の大切な
成長期に互いを尊重し、人として生か
し合うことを学
びます。



中学部

いよいよ旅立つ前の準備
聴覚をしっかり活用し「聴いて、話す」意
欲的な生活態度を育みます

聴覚主導の生活はもちろんのこと、少人数できめ細やかな学習指導を行います。活発なグループ活動は中学時代のかげがえのないたくさんの思い出をつくります。

また、個々に応じた進路指導はもとより、卒業後のサポートも継続し、卒業生を応援します。



オーディオロジー部

聴覚や補聴器に関する学問を「オーディオロジー（Audiology）」といいます。

日々の補聴器・人工内耳のチェックや聴力測定、聞こえを保障する環境整備など、聴覚に関すること全般を技術・専門スタッフによる「オーディオロジー部」が担っています。

聴覚に関する医学・音響学・電子工学・心理学と、最新の教育的経験に基づいて、一人ひとりの「聞こえ」の可能性を最大限に伸ばします。



日本聾話学校の教育の特徴

少人数での教育

1クラス最大7名の少人数制で、一人一人の成長に合わせた丁寧な教育を行います。どの子どももきちんと自分の思いを受け止めてもらい、伝えること、聴くことの楽しさを感じて過ごします。日々の成長の様子を保護者と共有します。



赤外線補聴システム

すべての教室に整備された赤外線を用いた集団補聴システムにより、最適な聞こえの環境を整えています。受信機は一人一人の補聴器や人工内耳に合わせて調整され、先生やお友達の声クリアに耳に届きます。



毎日の補聴器チェック

毎朝登校してすぐに全員の補聴器や人工内耳のチェックを行います。確実に聞こえていることを専門のスタッフが確認し、不具合があった際にはすぐに対応できる体制が整っています。



キリスト教精神に基づいた教育

週1回の礼拝で聖書のお話を聴き、朝昼夕と折々に祈りの時を持ちます。神様に与えられた命を共に喜び、感謝をもって日々を過ごします。



心通わせる対話による教育

毎日10分間、先生と1対1でお話をする「個別の時間」があります。うれしいこと、楽しいこと、気づいたことなど、楽しいお話を沢山しながら、しっかりと受けとめてもらい、心もことばも成長することができます。このような対話は、休み時間や教科学習の時間など、すべての学校生活において大切にされています。



幅広い進路選択

中学生の多くが卒業後に一般の高校へ進学します。その後も大学や専門学校など、それぞれの夢に向けて歩みを進め、多くの卒業生が社会に出て、その人らしく輝いて、活躍しています。

募集要項

1 入学資格

聴覚に障がいを持つ子ども。障がいの程度（聴力）、手帳の有無は問いません。
聴覚による教育を希望される方。

2 募集人員

各部若干名

3 募集・入学手続きの時期

新入学は2024年4月です。
転入は年度途中からでも、随時受け付けます。まずはご連絡ください。

4 入学試験

入学に際しては、教育相談、入学前の面接をもとにした審査を行います。
小学部、中学部においての学力試験による合否判定は行いません。
中学部への入学が決まった方には、面接に合わせて基礎学力検査を行います。
教育相談・面接の期日はご相談の上決定いたします。

入学までの流れ

1 お問い合わせ

まずはお電話またはホームページの問い合わせフォームからご連絡ください。
入園・入学を検討中の方の見学申し込みも受け付けております。お気軽にご連絡ください。

2 教育相談

お子さまについてお聞かせいただき、学校の案内・見学、聴力測定などを行います。
ご両親そろってご来校いただける日程を調整いたします。

3 入学希望

教育相談後、入学をご希望の場合はご連絡の上、入学願書をご提出ください。

4 入学審議

学校として責任をもって教育をすすめるため、入学の可否判断をします。

5 入学

必要な手続きを行い、ご入学となります。

入学の相談窓口

日本聾話学校（幼稚部・小学部・中学部）：副校長 せそこまさつぐ 瀬底正嗣

相談専用ダイヤル tel. **042-735-1171**



学費・諸経費等

(2023年度の例)

年間納入金（学費等）	入学時	幼稚部		小学部		中学部
		年少	年中・長	1～3学年	4～6学年	
入学金 ※1	50,000					
施設維持費 ※1	150,000					
授業料 (月額)		520,800 (43,400)	576,000 (48,000)	576,000 (48,000)	576,000 (48,000)	576,000 (48,000)
食事費 (月額)		25,850 (2,350)	26,400 (2,400)	47,300 (4,300)	55,000 (5,000)	56,100 (5,100)
冷暖房費 (月額)		3,600 (300)	3,600 (300)	3,600 (300)	3,600 (300)	3,600 (300)
PTA会費 (月額)	1,000 (入会金)	8,400 (700)	8,400 (700)	8,400 (700)	8,400 (700)	8,400 (700)
PTA賛助会費 (月額)		7,200 (600)	7,200 (600)	7,200 (600)	7,200 (600)	7,200 (600)
校友会費 ※1	5,000					
幼児教育無償化補助金		-308,400	-308,400			
合計	206,000	257,450	313,200	642,500	650,200	651,300

※1 入学金・施設維持費・校友会費がかかるのは、最初の入学時1回のみで、内部進学進学する際はかかりません。

その他費用	幼稚部		小学部		中学部
	年少	年中・長	1～3年	4～6年	
スポーツ共済振興会掛金	240	240	550	550	550
夏期学校（小1～中3）※3※4			5,000	5,000	5,000
冬期学校（小1～中2）※3			25,000	34,000	38,000
修学旅行（中学部3年生）					50,000

※3 夏期学校・冬期学校の費用は、毎年多少の上下があります。

※4 夏期学校については例年助成金をいただいております、それを差し引いたご家庭の負担額を表示しています。

学費減免制度

本校では、ご家庭の経済的負担を減らすための独自の学費減免制度を設けております。

① スカラシップ減免 世帯収入に応じた学費の減免です。

2023年度の例)	世帯収入	月額減免額	実質の学費（月額）
幼稚部	350万円以下	… 23,300円	… 0円(含. 幼児教育無償化の補助金)
	590万円以下	… 10,000円	… 13,300円 (同上)
	790万円以下	… 5,000円	… 18,300円 (同上)
小中学部	250万円以下	… 40,000円	… 8,000円
	590万円以下	… 25,700円	… 23,000円
	910万円以下	… 15,000円	… 33,000円

※減免に関する詳細、申請方法などについては本校ホームページをご覧ください。

② 複数在籍減免

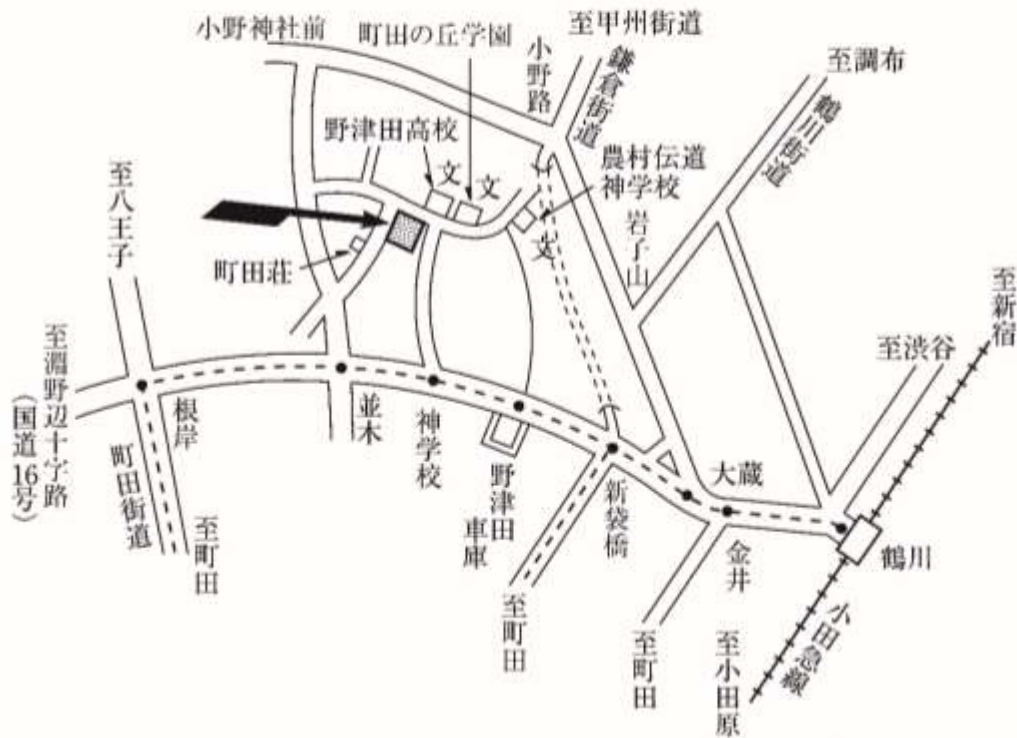
兄弟姉妹が同時に本校に在籍するご家庭への減免です。

2人目→授業料の半額 3人目→授業料の全額



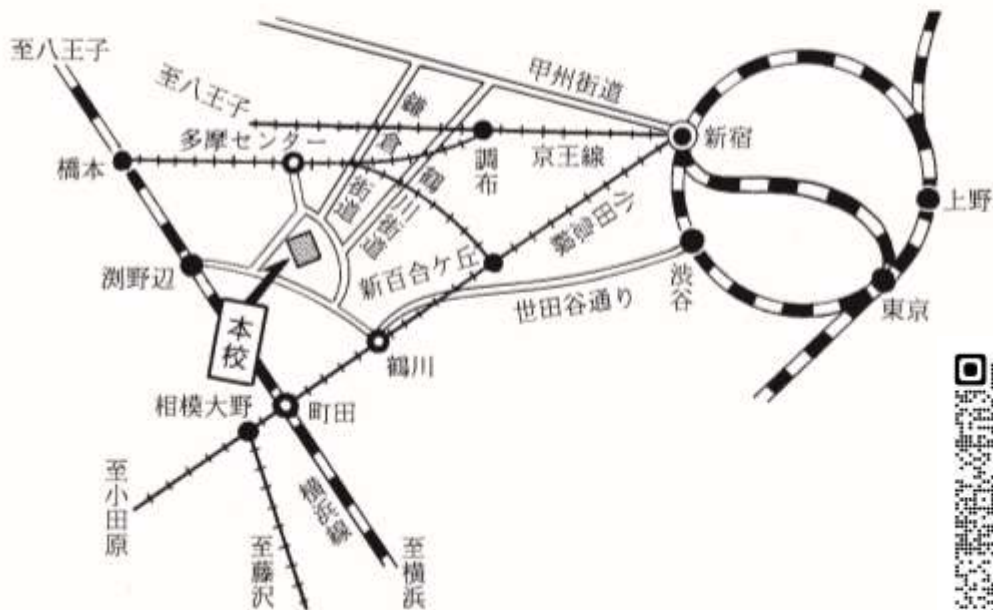
日本聾話学校へのアクセス

町田市野津田町並木 1942
 TEL 042 (735) 2361
 FAX 042 (734) 8292
 ホームページアドレス <http://www.nrg.ac.jp/>



〔道順〕

- 小田急線町田駅下車 バスセンターから14番のりば野津田車庫行 並木又は神学校下車 (徒歩10分)
- 小田急線鶴川駅下車 野津田車庫行バス 終点下車 (徒歩15分) ○タクシーの便あり
- 小田急・京王線多摩センター駅下車 タクシー10分
- 横浜線町田駅下車 バス・タクシーの便あり



Google map で見る